

第4章 イベントとコンベンション

1 札幌でのイベント開催状況

(1) さっぽろ雪まつり

昭和25年、市内の中高校生たちが大通公園西7丁目に作った小さな雪像6基からスタートしました。寒く厳しい冬に、わずかの楽しみを求めて集まった市民は5万人を数え、小雪像を囲んでのスクエアダンスや映画会を楽しみました。

回を重ねるごとにその規模は拡大し、第6回から雪像の制作に自衛隊が携わることで、大雪像時代が到来しました。今では国内はもとより世界的に知られる冬の一大イベントになっています。

さらに、第57回さっぽろ雪まつりでは、東区の農業交流体験施設「サッポロさとらんど」を会場とした『さとらんど会場』を開設いたしました。遊び、体験、交流などをコンセプトにした全く新しい会場として好評を博しました。



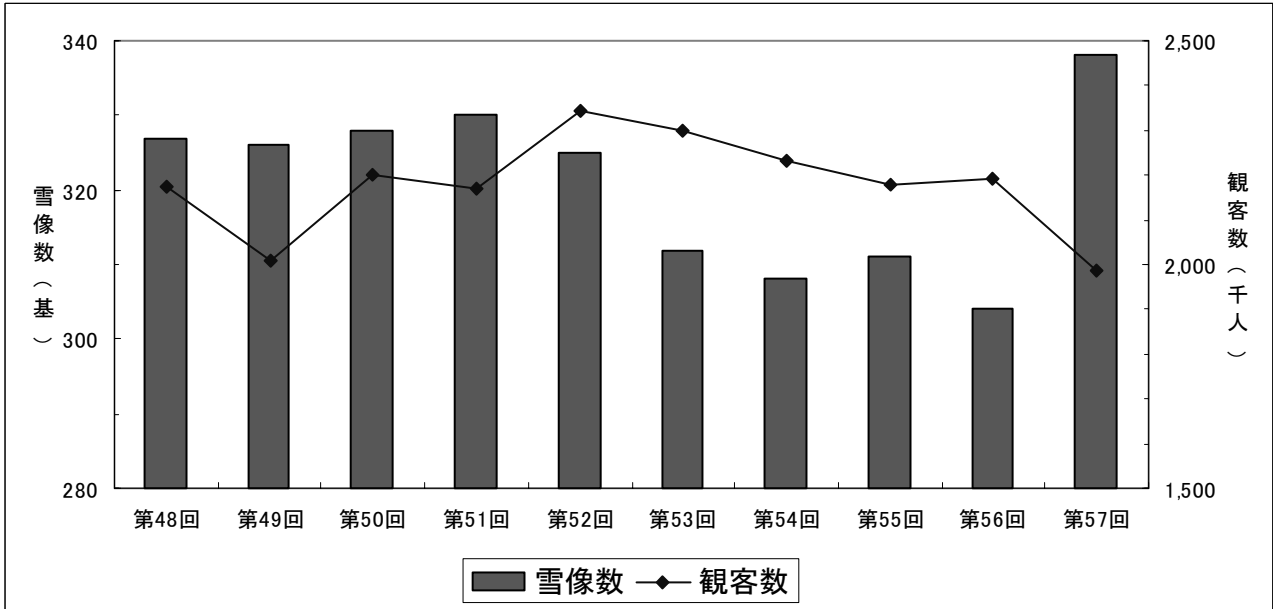
(URL) <http://www.snowfes.com/>

第57回さっぽろ雪まつりの開催概要

期 間	平成18年2月6日(月)～12日(日)〔7日間〕	
会 場	大通会場	大通西1～12丁目
	さとらんど会場	サッポロさとらんど
	すすきの会場	駅前通(南4～7条)
行 事 等	・開会式(大通西7丁目 2月6日) ・さとらんど会場オープニングセレモニー(さとらんど 2月6日) ・国際雪像コンクール 15チーム(大通西11丁目) ・市民雪像(大通 小雪像136基、中雪像3基、バーチャル雪まつり雪像1基) ・スノーオブジェコンテスト(さとらんど 2月6日) ・ステージイベント(各会場で会期中、多種多彩なイベントを実施)	
雪氷像数	338基(大雪像5基、中雪像7基、大氷像2基、その他小雪氷像)	
雪輸送量	5tトラックで約5,000台 ※ 1月7日開始	

観客数、雪氷像数の推移（過去10年）

	第48回 (平成9年)	第49回 (平成10年)	第50回 (平成11年)	第51回 (平成12年)	第52回 (平成13年)	第53回 (平成14年)	第54回 (平成15年)	第55回 (平成16年)	第56回 (平成17年)	第57回 (平成18年)
雪像数(基)	327	326	328	330	325	312	308	311	304	338
観客数 (千人)	2,174	2,007	2,201	2,168	2,344	2,297	2,233	2,179	2,191	1,985



(2) YOSAKOIソーラン祭り

高知の「よさこい祭り」で南国土佐の若者たちが情熱的に踊り舞うさまを目にした札幌の大学生が、翌年の平成4年、その感動を再現する新イベントを札幌に創り出しました。

よさこい踊りとソーラン節という、日本の南と北の風物詩を組み合わせた「YOSAKOIソーラン祭り」の誕生です。

鳴子を手にし、あでやかな衣装に身を包んだ踊り子チームのそれぞれが、ソーラン節のオリジナルやアレンジ曲に合わせて独自のよさこい踊りを披露し、市内に展開する各会場で腕を競い合います。



YOSAKOI ソーラン祭り組織委員会

平成10年開催の第7回から、祭りの急速な規模拡大に対応するため、学生中心の実行委員会に代わって、経済界や本市などが加わり組織委員会が結成され、運営・管理体制の強化が図られました。

本市の新しいタイプの祭りとして、広く市民の共感を得ています。

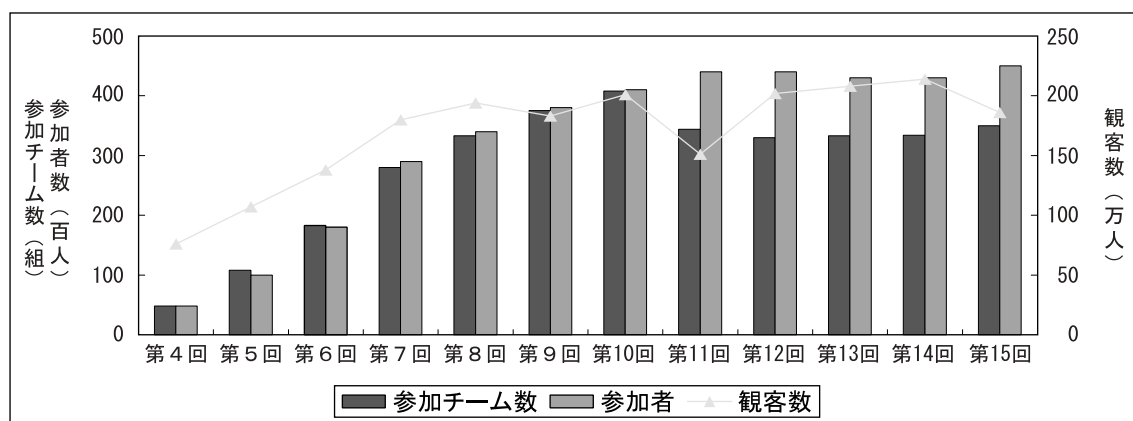
(URL) <http://www.yosanet.com/>

第14・15回YOSAKOIソーラン祭りの開催概要

	第14回（平成17年度）	第15回（平成18年度）
期 間	平成17年6月8日(水)～12日(日)	平成18年6月7日(水)～11日(日)
会 場	大通公園を始めとする市内25会場	大通公園を始めとする市内31会場
参 加 者	延べ43,000人 334チーム	延べ45,000人 350チーム
うち市内	93チーム	86チーム
道 内	137チーム	122チーム
そ の 他	90チーム	142チーム
観 客 数	214万人	186万人
経済効果	230億7900万円	238億3400万円

観客数、参加チーム数、参加者数の推移

	第4回 (7年度)	第5回 (8年度)	第6回 (9年度)	第7回 (10年度)	第8回 (11年度)	第9回 (12年度)	第10回 (13年度)	第11回 (14年度)	第12回 (15年度)	第13回 (16年度)	第14回 (17年度)	第15回 (18年度)
参加チーム数	48	108	183	280	333	375	408	344	330	333	334	350
参加者(百人)	48	100	180	290	340	380	410	440	440	430	430	450
観客数(万人)	76	107	138	180	194	183	201	151	202	208	214	186



(3) さっぽろ夏まつり

昭和29年、夏の観光名物の新規開拓を目指して、それまで市内の各団体・地域がそれぞれ独自に実施してきた夏の行事が一つにまとめられました。「さっぽろ夏まつり」の誕生です。

現在、この祭りは毎年7・8月に1ヵ月間連続して開催され、大通会場をはじめ狸・すすきの・かっぱの3祭りとは各団体、各地域の催しものから構成されています。そしてこのイベントの中心となっているのが納涼ガーデンと盆踊りです。祭りの前半には、メイン会場の「大通納涼ガーデン」に色とりどりのパラソルの花が咲き、ジョッキ数十万杯分の生ビールが市民や観光客ののどを潤します。



後半に催される「北海盆踊り」では、提灯の列に彩られた夜の大通にやぐら太鼓が鳴り響き、大勢の市民と観光客で踊りの輪が広がっていきます。

また、17年度から、後半の新規催事である「フードスクエア」を実施します。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/natsu/>

第 52 回さっぽろ夏まつりの開催概要

期 間

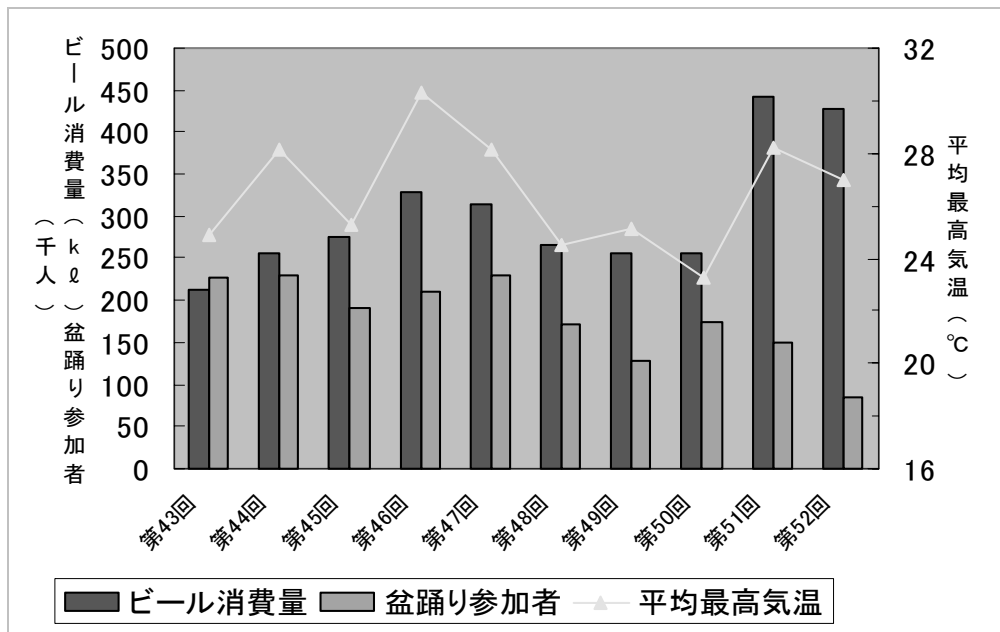
平成 17 年 7 月 21 日（木）～8 月 20 日（土）〔31 日間〕

行事等

	行 事 ・ 会 場	日 程
大 通	福祉協賛大通納涼ガーデン (西 2、5～8、10 丁目)	7 月 21 日～8 月 10 日
	北海盆踊り (西 7 丁目)	8 月 14 日～20 日
	※「仮装コンクール」(西 7～8 丁目路上)	8 月 20 日
	さっぽろバザール (西 5 丁目)	8 月 14 日～20 日
	フードスクエア (西 6 丁目)	8 月 14 日～20 日
狸 小 路	第 52 回狸まつり	7 月 21 日～8 月 20 日
すすきの	第 41 回すすきの祭り	8 月 4 日～6 日
定 山 溪	第 41 回定山溪かっぱまつり	8 月 5 日～10 日

ビール消費量および盆踊り参加者数の推移 (過去 10 年)

	第43回 (平成8年)	第44回 (平成9年)	第45回 (平成10年)	第46回 (平成11年)	第47回 (平成12年)	第48回 (平成13年)	第49回 (平成14年)	第50回 (平成15年)	第51回 (平成16年)	第52回 (平成17年)
ビール消費量(kℓ)	212	255	276	328	314	266	256	256	442	428
盆踊り参加者(千人)	227	230	190	210	230	172	127	173	149	84
平均最高気温(℃)	24.9	28.1	25.3	30.3	28.1	24.5	25.1	23.3	28.2	27.0



(4) さっぽろライラックまつり

明治期に米国からもたらされて以来、ライラック（別名リラ）は多くの市民に愛され、街角や庭先を飾ってきました。昭和 34 年に「ロマンのまちらしい札幌のまつりを」という文化団体や芸術・文化人らの呼びかけで始まりまし。翌、昭和 35 年には、札幌市の人口 50 万人突破を記念して行われた市民投票で、市の花・木・鳥を決めた際に「札幌の木」として選ばれています。毎年 5 月下旬の開花時期にあわせて開催される「さっぽろライラックまつり」は、半年あまりの長い冬からの開放と野外散策の季節の到来を市民に告げるイベントであり、昭和 34 年度に第 1 回が開かれてから、平成 18 年度で 48 回を迎えました。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/lilac/>

第 47・48 回さっぽろライラックまつりの開催概要

	第 47 回（平成 17 年度）	第 48 回（平成 18 年度）
期 間	平成 17 年 5 月 20 日(金)～22 日(日)	平成 18 年 5 月 19 日(金)～21 日(日)
会 場	大通公園西 4～7 丁目	
行 事 等	苗木プレゼント、鯉の放流（47 回まで）、ライラック写生コーナー、野だて、大道芸、市民音楽の広場、似顔絵コーナー、スタンプラリー、折紙教室、和紙ちぎり絵展示・教室、万華鏡の体験・展示コーナー、喫茶コーナー、ワインガーデン（第 47 回からの新規事業） 他	
観 客 数	336,400 人	346,700 人

(5) さっぽろ菊まつり

昭和 30 年代の園芸ブームに乗って菊作りの愛好者が増え、市民の関心が高まる中、それまでばらばらであった小規模な同好会の活動が一本化され、全市的なイベント「さっぽろ菊花展」が誕生しました。昭和 38 年の第 1 回開催から 4 年を経た第 5 回からは、名称が「さっぽろ菊まつり」に変わり、展示会から市民も催しの参加者となって共に楽しむまつりとなりました。



札幌市の秋の恒例行事として内外に定着したこのまつりは、現在、札幌地下街のオーロラタウンとポールタウン、地下鉄大通駅コンコースを会場として開催されています。「大輪 3 本仕立」、「懸崖仕立」など丹精込めた作品が 4 日間にわたって地下街の通り中央にずらりと並び、その数は毎年、約 8 百点に達します。

また、14 年度より、菊づくり愛好者の裾野を広げ、より多くの方が菊まつりに出展できるように、菊づくり講習会を実施しています。

(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/kiku/>

2005 さっぽろ菊まつりの開催概要

期 間	平成 17 年 10 月 31 日 (月) ~ 11 月 3 日 (木・祝) [4 日間]
会 場	さっぽろ地下街オーロラタウン・ポールタウン、地下鉄大通駅コンコース
行 事 等	菊花プレゼント、菊花展、初心者相談コーナー、菊づくり講習会、菊オブジェ
観 客 数	140 万人
出 展 数	936 点

(6) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に、秋の観光シーズンと「さっぽろ雪まつり」をつなぐイベントとして始められ、当初は大通公園の西 2 丁目のみを会場に 1,048 個の電球からスタートしました。現在は、大通公園と駅前通りを会場とするに至り、37 万個もの電球が飾られたシンボルオブジェや立木が東西・南北両方向に街を貫きます。



(URL) <http://www.sweb.co.jp/kanko/white/>

第 25 回さっぽろホワイトイルミネーションの開催概要

会 期	大通公園会場 [大通西 1~8 丁目]	平成 17 年 11 月 18 日(金)~ 平成 18 年 1 月 4 日(水)	48 日間
	駅前通り会場 [北 4 条~南 4 条]	平成 17 年 11 月 18 日(金)~ 平成 18 年 2 月 12 日(日)	87 日間
点灯時間	16:00~22:00 (12 月 23、24、25、31 日は 24:00 まで)		
総電球数	37 万個		
行 事 等	・ ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo 大通西 2 丁目 11 月 19 日 (土) ~ 12 月 11 日 (日) ・ カウントダウン 大通西 2・3 丁目 12 月 31 日 (土)		

2 札幌でのコンベンション開催状況

札幌での主なコンベンション開催見込み状況

(単位 件、%)

年 度	合 計		国際大会	全国大会	全道大会
	件 数		件 数	件 数	件 数
		前年比			
13年度	818	101.7	50	212	556
14年度	680	83.1	37	240	403
15年度	608	89.4	39	198	371
16年度	842	138.5	41	92	709
17年度	872	103.6	33	89	750

注) 関係機関、市内各大学各種団体に照会し、回答のあったものについて集計。

平成17年度分調査期間：2005年2月～2005年3月末

札幌コンベンションセンター稼働率（平成17年度）

(単位 日、%)

	利用日数	稼働率
大ホール	282	86.0
特別会議場	156	47.6
中ホール	263	80.2
小ホール	211	64.3
会議室(15室)	271	82.6

総来場者数	380,588人
-------	----------

注) 稼働率は、営業日数328日で計算。

国際コンベンション開催状況の他都市との比較

(単位 件)

2003年			2004年		
順位	都 市	件 数	順位	都 市	件 数
1	東京(23区)	715	1	東京(23区)	733
2	京都	222	2	大阪	254
3	名古屋	193	3	京都	224
4	神戸	168	4	名古屋	193
5	福岡	160	5	福岡	178
6	大阪	148	6	神戸	172
	横浜	148	7	横浜	156
8	つくば地区	90	8	千里地区	130
9	札幌	87	9	札幌	92
10	千里地区	62	10	つくば地区	78

注) 千里地区：豊中、茨木、吹田、高槻、箕面の5都市

つくば地区：土浦、つくばの2都市

(出典：国際観光振興機構(JNTO) コンベンション統計)